

※取扱説明書の画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。※画像はイメージです。

警告(けいこく)

保護者の方へ必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。●生後18ヶ月未満のお子様には絶対に与えないでください。ひもなどで首を絞める危険があります。

注意(ちゅうい)

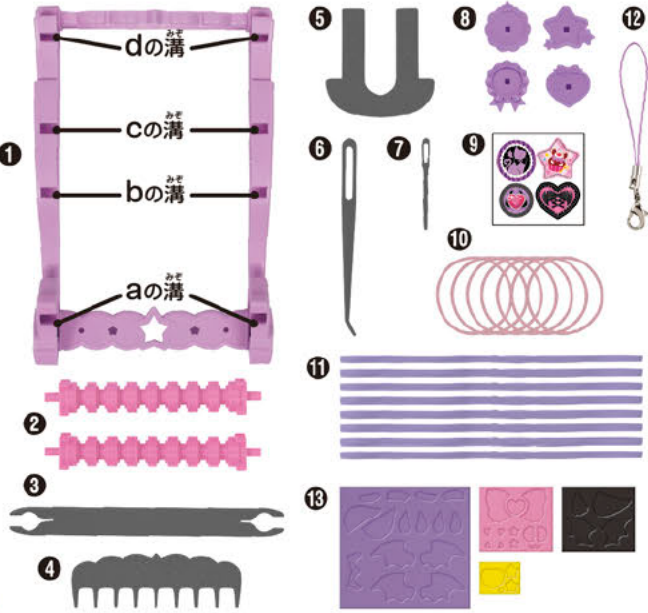
●遊ぶ前に、取扱説明書をよく読んでから使用してください。●保護者のもとで遊ばせてください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。●ぶつかけたり、ふりまわすなど乱暴な遊びをしないでください。●可動部には指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。●回転部に指や髪の毛や衣服などをはさまれないように注意してください。●リボン・毛糸・糸・ゴムヒモ・ストラップは、指などに巻きついたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。●リボン・毛糸・糸・ゴムヒモを首にかけてふざけたり、乱暴に遊んだりしないでください。窒息などの危険があります。●ハサミを使用する部分がありますので、お取扱いには注意してください。●安全のため、破損、変形しているかどうか確認し、破損、変形したおもちゃは使用しないでください。●火気や暖房器具の近くで遊ばせないでください。●リボン・毛糸などを火に近づけないでください。燃える可能性があります。



<使用上の注意> ●梱包材は開封後、すぐに捨ててください。●可動部分・取付部分を無理な方向に強く引っ張ったり、曲げたりしないでください。●遊びの難しいところは保護者の方が手伝ってあげてください。●リボン・毛糸等が絡まないようご注意ください。●作ったアクセサリー等で体質によってかゆみ・かぶれを生じる場合がありますので、皮膚に異常を感じたときは、ご使用をお止めください。●おことわり> パンダイでは、より安全で楽しいおもちゃをお届けするために、常に研究・調査・改良を行っております。お買い上げの時期によって、同一商品の中にも多少の違いがある場合がありますのでご了承ください。

セット内容と各部名称

- ①本体…1個 ②バー…2本 ③シャトル…1本 ④コーム…1個 ⑤ポンポン用パーツ…1個 ⑥仕上げ針…1本 ⑦とじ針…1本
- ⑧チャーム…4個 ⑨チャーム用シール…1枚 ⑩ゴム紐(ピンク)…7本 ⑪平ゴム(紫)…8本 ⑫ストラップ…1本
- ⑬EVAシール…4色×各1枚 ⑭取扱説明書(本紙)…1枚



はじめに シャトルに毛糸・リボン素材を巻こう!

※画像はオーガンジーリボンで説明しています。

1 シャトルの上下好きな方の溝に毛糸・リボン素材の端をいれこみます。

2 シャトルの逆側のくぼみに素材を通します。同じようにシャトルの上下のくぼみに素材を巻いていきます。

3 8~10回程度巻いたら、図のように20cmくらい残してはさみで切りましょう。※付属のオーガンジーリボンはシュシュ用にちょうど良い長さになっているため、切る必要はありません。

ふんわりシュシュを作ろう!

1 溝にきちんと入れてね!

2 2本のバーにゴム紐を3本通したら、片方のバーをaの溝、もう片方のバーをbの溝に順にセットします。

3 3本のゴム紐をバーのいずれかの中央3か所の隣り合った溝にかけなおします。

4 シャトルを1番右のゴムの中から通し、図のように真ん中のゴムの上に出します。

5 シャトルを1番左のゴムの中に通し、ゆっくりと左へ引きぬきます。一段目の完成です!

6 二段目は同様にシャトルを左からゴムの上・ゴムの中・ゴムの上を通してゆっくり右へ引きぬきます。

7 コームを使って手前に巻いて、ととのえます。④~⑦を繰り返していきます。右上の図のように2本のバーの間があめたら、⑧にすすみます。

8 図のようにバーの端を持って、あみ終わりの位置が手前のバーの位置になるまで手前に回します。また④~⑥を繰り返してあんでいきます。

9 残りのゴムの幅が2cmくらいになったら、シャトルからリボンをはずし、仕上げ針に付かえてゴムが見えなくなるまであみます。

10 最後に仕上げ針からリボンを外し、⑤のようにいずれかのゴムに結び付けます。余分なリボンはゴムの近くではさみで切り取ってください。

11 本体からバーをゆっくり外し、シュシュの形をととのえたら完成です!






モンスターバッグを作ろう!

取っ手を作る用のモールヤーン約50cm×3本と、底をぬい合わせる用のモールヤーン約25cmを先に切り取っておいてください。

バッグのベースの作り方

-  2本のパーに平ゴム(紫)を8本通した5片方のパーをaの溝、もう片方のパーをcの溝に順にセットします。
-  シャトルに巻きつけたモールヤーンの端を右上の図のように右から2番目のゴムに結びつけます。
-  図のようにシャトルを1番右のゴムの中→左どなりのゴムの上→左どなりのゴムの図に通します。1番左のゴムまで繰り返したら、ゆっくりとシャトルを左に引きぬきます。
-  幅がせまならないように、左右にシャトルを引きぬく時は強く引きぬかないでね!
-  コームでととのえるのも忘れずに!

バッグ本体の仕上げ

-  ベースの角にゴムを結び目をつけて、バッグの底を作ります。
-  ぬい終わったら、最初と最後の結び目が内側になるように裏返すときれいに仕上がりますよ!
-  2針目は1針目の位置から1cmくらい左の位置で、同じようにベースの裏から表に向かってとじ針をさします。これを繰り返して、残りの矢印をぬいていき、最後に初めと同じようにゴムに結びつけます。
-  モンスターバッグのEVAシールは、パッケージの画像を参考に貼ってください。
-  バッケージの画像を参考にEVAシールを貼りつけ、モールヤーンで作った取っ手を右上の図のようにゴムに結びつけたらモンスターバッグの完成です!

他の作例の作り方は **アメールアメールの公式サイトをチェック!**

<https://toy.bandai.co.jp/series/makingtoy/amerameru/>

※通信料などはお客様の負担となります。



リボンヘアゴムを作ろう!

タコ糸25cm×1本を先に切り取っておいてください。

-  オーガンジーリボンを、ポンポン用パーツに巻きつけます。
-  すべて巻き終わったら、リボンの束をパーツから少しずらし、はさみで図のように2箇所の切り込みを入れます。
-  リボンをパーツに戻し、切り込みを入れた部分をタコ糸で2周巻いてきつくしぼります。右上の図のように、結び目を作る時にタコ糸を2重に巻き付けるのとゆるまずに結べます。
-  重くなったリボンを1枚1枚ひらいてほくします。形をととのえて、リボンのポンポンを作ります。余ったタコ糸をヘアゴムに結びつけます。
-  はさみで余分な糸を切ったら完成です。

ビッグリボンシュシュを作ろう!

タコ糸25cm×1本、結ぶ用のオーガンジーリボン(黒)約40cm×1本を先に切り取っておいてください。

-  表面のふんわりシュシュと同じように、オーガンジーリボン(黒)を約10cmの長さになるく巻いていきます。
-  リボンの束をパーツから外して、真ん中をくしゃっととまめます。
-  山折りと谷折りの繰り返しにするときれいに仕上がりますよ!
-  結ぶ用のオーガンジーリボン(黒)約40cmを細く折ってリボンの真ん中になるく巻きつけ、裏で結びます。
-  シュシュに4で作ったリボンの束をつけた部分をシュシュのリボンに巻きつけて結びます。
-  形をととのえたらベースの完成です。
-  チャームの形に合わせてシールを貼り、タコ糸をチャーム、とじ針の順に通します。とじ針をリボンの結び目の裏に通して、糸を引き抜き、糸が通ったら1回とじ針をとります。チャームのもう片方の糸にまたとじ針を通し、逆からも通します。
-  タコ糸を両側から引き、2回結びます。
-  形をととのえて完成です。

モンスターマスコットを作ろう!

タコ糸25cm×1本を先に切り取っておいてください。

-  巻き始めは親指でおさえるとやりやすいよ!
-  すべて巻き終わったら、毛糸束の中央をタコ糸で2周巻いてきつくしぼります。右上の図のように、結び目を作る時にタコ糸を2重に巻き付けるのとゆるまずに結べます。
-  毛糸の束をパーツから取り出して、はさみで両端を切ります。
-  はさみで余分な糸を切ったり、形をととのえてポンポンを作ります。
-  ストラップのカニカン(カニカンのイラスト)をポンポンが結んであるタコ糸に通します。
-  バッケージの画像を参考に、EVAシールを貼り付けます。ツノと羽根は毛糸を2枚のシールではさみ、完成です。

素材がなくなったら、市販の材料を使って何度でも作れるよ!

- ふんわりシュシュ・ビッグリボンシュシュ用オーガンジーリボン:幅約30~40mm×約3m
- リボンヘアゴム用オーガンジーリボン:幅約30~40mm×約1.5m
- モンスターバッグ用モールヤーン:太さ約8mm×約10m
- モンスターマスコット用毛糸:太さ約5~6mm×約5m

それぞれのゴムの長さ:	ヘアゴム用	バッグ用
シュシュ用 太さ:約2mmのゴム紐	太さ:約2mmのゴム紐	幅:約5mmの平ゴム
×3本	×1本	×8本
長さ:約6cm	長さ:約6cm	長さ:約13cm

途中で糸がなくなったら

-  新しい糸をシャトルに巻きます。
-  シャトルの糸の端と、あみ途中の糸の端を結びます。結び目が表に出てしまう場合は、あみあがった後、裏側へ押し込んでください。